



町童話発表会開催 - 3人が町代表に -

7月22日、つなぎ文化センターで、町内2小学校の代表児童18人が参加して町童話発表会が行われました。児童たちは最初は少し緊張した様子でしたが、ステージに上がると大きな声で練習の成果を発揮していました。本町からは、次の3人が町代表として8月3日に芦北町社教センターで行われる郡市の発表会に出場します。皆様のご声援をよろしくお願いします。

【写真右から】
 ▽本山明香里（津小5年）
 ▽倉形 勇輝（津小3年）
 ▽浦口 留愛（津小2年）

立体的な表現 人形劇に園児大感激！

7月14日、改善センターで町内保育園・幼稚園の園児達が合同で人形劇を観劇しました。これは、日常ふれることが少ない生の人形劇を観劇し、臨場感のある立体的な表現の魅力味わうことで、園児達の想像力を高め、夢を広げることを目的に行われました。

この日の題目は「金の斧と銀の斧」。園児達は登場人物のユニークな動きや、うさぎなどの可愛い仕草に笑い声をあげたり、明るくテンポのいい音楽と一緒に手拍子をして、とても劇を楽しんでいました。



津奈木町で本物を鑑賞しよう！

7月12・16日に水俣第三中の生徒がつなぎ美術館を訪れ、鑑賞学習を行いました。

これは、本物の作品を鑑賞することで感性や情操を豊かにして表現活動に生かしたり、作者の創意や工夫を感じながら、抽象画の魅力を味わってもらおうと計画されたものです。

生徒のほとんどが美術館に訪れたのは初めてとのことと、どんな思いで描かれた作品なのか、なぜこのような表現をしたのかなど話し合いながら、興味深げに作品を鑑賞していました。

社会を明るくする運動を展開

7月1日、水光社津奈木店前で町の保護司などが参加して、ひまわりの花苗の配布等が行われました。これは、犯罪や非行のない明るい社会づくりを目指して、全国的に展開されている「社会を明るくする運動」の一環として実施されたものです。7月は本運動の強調月間で、このほかにも、町内小中学生の標語をもとに作成した看板設置などが行われました。

